

生産者の皆様へ

JAひろしま
呉地域営農経済センター 営農販売課

台風による農産物への被害軽減の対策について

この度の台風等により各作物への影響が懸念されております。
各品目の次のような被害軽減対策し、生育回復・維持に努めましょう。

1. 生育回復のため、窒素成分が主体の葉面散布用液肥を散布する（特に果菜類・露地野菜など）
 - (1) 葉裏を中心に丁寧に散布しましょう
 - (2) 朝つゆが消えた午前中が効果的です。
 - (3) 気温の高い時間は障害が出やすくなるので、散布を控えましょう
(くみあい液肥2号、 尿素など)
2. 水が引かず、根腐れが心配される
圃場が冠水し、根腐れがおきないように強制的な排水をできるだけ早く行い土壌を乾燥させるようにしましょう。他にも酸素資材を施用すると効果的です。(ジェイジェイ酸素)

【水稻】

浸水・冠水を受けた圃場は排水に努めてください。
白葉枯病、いもち病が発生しやすいので注意しましょう。
(本田防除剤：オリゼメート粒剤等)

【野菜・花卉】

浸水・冠水を受けた圃場は排水に努めてください。
土寄せや追肥、液肥の散布により生育回復に努め、傷んだ茎、葉の除去をし、殺菌剤の散布により病害の発生を防止しましょう。
果菜類は、摘果により負担を軽減させてましょう。
(主な病害) 疫病、炭疽病、軟腐病など

【果樹】

かいよう病・黒点病の発生に注意してください。
前回防除より200ミリ以上の降雨があった場合は、補完防除をおこなって下さい。(かんきつ園管理を参照)